



第81期 株主通信

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

ニチレキグループ株式会社

証券コード：5011

ニチレキグループ企業理念

基本理念 (種播き精神)

種を播き、水をやり、花を咲かせて実らせる
たゆみない努力の積み重ねによって絶えず新しい仕事を創造していきます。

経営理念

ニチレキグループは、「道」創りを通して社会に貢献するため、

- ▶ 優れた機能とコストを満足する道路舗装材料ならびに工法の提供
- ▶ 国民の共有資産である「道」をいつも見守る高度なコンサルティング
- ▶ 顧客から信頼される施工技術

これらを完全に一体化し、株主をはじめ幅広い顧客の皆様から信頼される「道」創りになくてはならない収益性に優れた企業グループであり続けるとともに、社員一人ひとりが能力を発揮でき、働きがいのあるグループであることを経営理念とします。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第81期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、個人消費の一部に物価上昇の影響が見られましたが、企業の業況感や収益状況の改善が続いたこと、DX関連の投資や人手不足に対応するための設備投資の増加基調が持続したこと等から、緩やかな回復基調をたどりました。先行きにつきましては、雇用情勢や所得環境の改善が続いていること、インバウンド需要が増加基調で推移していること、企業のデジタル関連、人的資本、省力化等への投資意欲が引き続き強いと見られること等から、緩やかな回復が続くことが期待されていますが、米国の関税政策等に伴う混乱、物価上昇の影響等の懸念も高まっている状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、防災・減災、国土強靱化対策等の建設需要の高まりを背景に、名目ベースでの公共事業予算は相当額が確保されましたが、工事単価上昇に伴う実質ベースでの伸び悩み、人手不足や2024年問題への対応等による工事進捗への影響、原油価格の高止まりや円安等を背景とする原材料高等、当社グループの事業にとっては業績下押し要因となるものも多く、総じて厳しい状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社グループは、迅速かつ的確な意思決定のもと、組織一丸となって持続可能な企業グループとして成長していくことを目指し、中期経営計画『しなやか2025』に掲げた各施策に取り組んでまいりました。基本理念である「種播き精神」のもと、つくばビッグシッププロジェクト（新たな営業・物流拠点、工場の建設計画）の推進、インド合併会社の設立など、将来を見据えた投資も行っております。

また、当社は、2024年10月1日付で、会社分割（吸収分割）の方式により持株会社体制に移行し、商号をニチレキグループ株式会社に変更いたしました。その際、ニチレキ株式会社（同日付でニチレキ分割準備株式会社より商号変更）が吸収分割承継会社としてアスファルト応用加工製品事業と道路舗装事業を承継しました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月



代表取締役社長
小幡 学

営業の概況

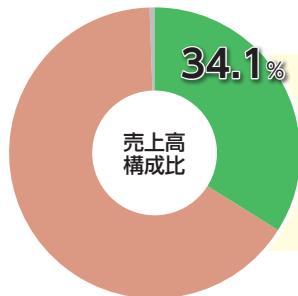
営業成績

当連結会計年度の業績につきましては、長寿命の高付加価値製品の設計・受注活動、ICT技術活用などを推し進めてきた結果、売上高は75,745百万円（前期比2.6%増）、営業利益は6,268百万円（前期比4.1%増）、経常利益は7,047百万円（前期比10.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は4,848百万円（前期比8.0%増）となりました。

財務ハイライト



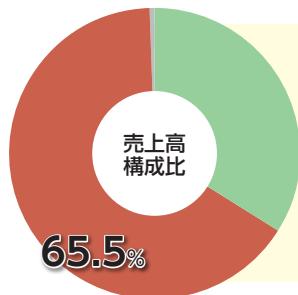
事業別概況



● アスファルト応用加工製品事業

アスファルト応用加工製品事業は、主として「アスファルト乳剤」、「改質アスファルト」、「床版防水材料」など、アスファルトを主原料として使用した製品の製造・販売を行うセグメントです。「長寿命化・高性能化」や「環境負荷低減」を図る高付加価値製品の設計・受注活動の推進により、販売拡大と利益確保に努めてまいりました。

※売上高構成比は外部顧客に対する売上高に基づき算出しました。

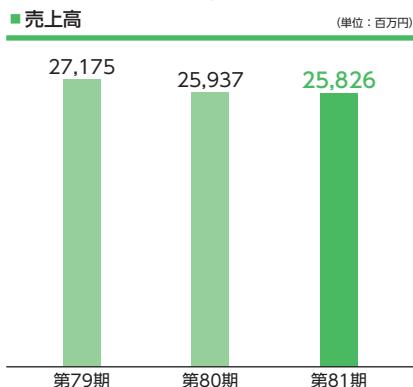


● 道路舗装事業

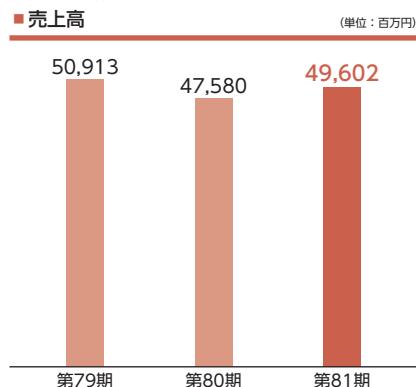
道路舗装事業は、主として舗装工事、橋梁床版防水工事等の土木工事の請負と、それに関する調査・診断、設計、監理を行う事業セグメントです。当社グループの主な工法としては、既設舗装材や路盤材のリサイクル及び長寿命化を実現する「スタビセメントRC工法（路上路盤再生工法）」、橋梁の長寿命化を図る「HQハイブレンAU工法」、間伐材等の木材チップの有効活用ができる「アスウッド工法」等が挙げられます。また、施工管理に関しては、ICT技術の活用を進めております。

※売上高構成比は外部顧客に対する売上高に基づき算出しました。

● アスファルト応用加工製品事業



● 道路舗装事業



第8回インフラメンテナンス大賞 防衛大臣賞の受賞

この度、第8回インフラメンテナンス大賞のメンテナンスを支える活動部門について当社の耐流動性（耐わだち掘れ）を高めた舗装技術（エプロンの補修事例）が「防衛大臣賞」を受賞いたしました。インフラメンテナンス大賞は、国土交通省、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、防衛省が所管する施設について、優れた取組みや技術開発に対して、有識者による審査を経て決定するものです。

自衛隊施設においては、大型車両の約3倍のタイヤ接地圧を有する航空機による施設内のアスファルト舗装の流動（わだち掘れ）による破損が多く見られます。

そこで、当社は、次の特長を持つポリマー改質アスファルトを開発しました。

- ① 従来品（ポリマー改質Ⅱ型、Ⅲ型）の2倍以上の耐流動性（耐わだち掘れ）を有すること。
- ② ポリマー改質Ⅱ型と同等のひび割れ抵抗性があること。
- ③ 施工方法が一般的なアスファルト混合物と同様であること。

実際の現場（自衛隊施設のエプロン）においても、写真のように耐流動性（耐わだち掘れ）とひび割れ抵抗性に優れたライフサイクルコストに寄与できていることが確認されました。

当社は、今後も付加価値の高い製品・工法へのシフトを加速し、「道」創りのさらなる進化を目指していきます。

高塑性変形抵抗性As混合物の室内試験結果（ネートルマック®試験）の一例
(試験条件：①載荷接地圧：0.63MPa, ②走行速度10.5回/mm, 試験温度：70℃)



賞状

受賞メンバー

2024年度優秀工事等の表彰（朝日工業テクノス株式会社）

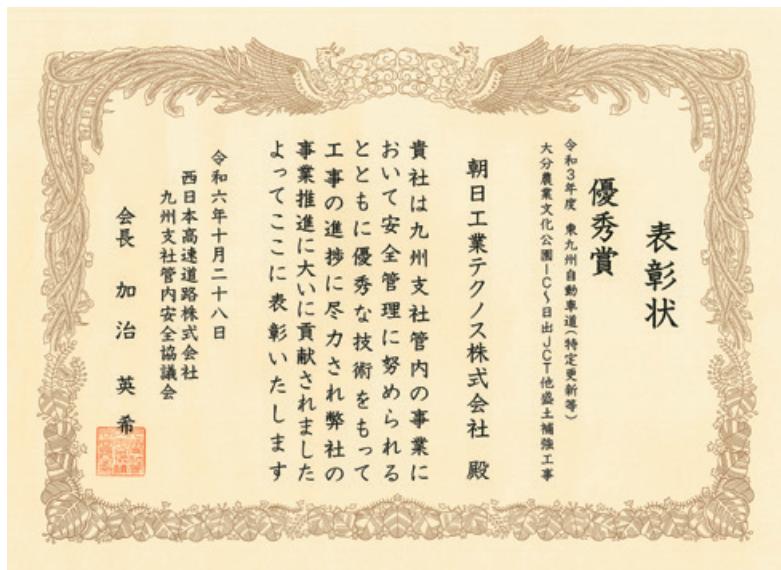
この度、2024年10月28日にJR博多シティホテルにて、「令和6年度西日本高速道路株式会社九州支社管内安全協議会総会」が執り行われ、当社が施工した『令和3年度 東九州自動車道（特定更新等）大分農業文化公園IC～日出JCT他盛土補強工事』が優秀賞として表彰されました。

本工事は近年頻発する地震に備え、東九州自動車道（大分農業文化公園IC～日出JCT間）の危険個所の補強工事でありました。最長23mの鋼管杭*を盛土部分に計95本打ち込み・生コンクリート打設し地盤を安定させるのですが、地盤の粘性が高く当初設計の工法（ダウンザホールハンマ工法）では掘削後の鋼管杭挿入ができなかったため、ARハンマ工法（掘削時に発生する高含水泥土の排出が可能）の提案を行い採択され無事竣工いたしました。

施工中は関係者との綿密な調整により施工計画を立案し迅速かつ円滑に工事を進捗させることができました。

今後も今回の受賞を励みとし、より一層の技術力向上と品質確保に努め『道』創りを通して地域社会に貢献してまいります。

*鋼管杭（こうかんくい）とは、円筒状の鋼鉄製の管を地面に打ち込み、建物などの荷重を支えるための杭のこと。



表彰状



施工状況

連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第80期	第81期
資産の部		
流動資産	49,564	56,076
固定資産	45,529	56,292
有形固定資産	25,731	35,815
無形固定資産	1,202	1,204
投資その他の資産	18,595	19,272
資産合計	95,094	112,368
負債の部		
流動負債	17,865	16,160
固定負債	2,392	18,887
負債合計	20,258	35,047
純資産の部		
株主資本	70,140	72,790
資本金	2,919	2,919
資本剰余金	4,028	4,054
利益剰余金	66,200	68,991
自己株式	△3,008	△3,174
その他の包括利益累計額	4,695	4,529
その他有価証券評価差額金	3,565	3,290
為替換算調整勘定	202	322
退職給付に係る調整累計額	927	915
純資産合計	74,836	77,320
負債及び純資産合計	95,094	112,368

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第80期	第81期
売上高	73,832	75,745
売上原価	57,368	58,406
売上総利益	16,464	17,338
販売費及び一般管理費	10,444	11,070
営業利益	6,019	6,268
営業外収益	468	833
営業外費用	97	54
経常利益	6,390	7,047
特別利益	808	83
特別損失	358	52
税金等調整前当期純利益	6,840	7,079
法人税、住民税及び事業税	2,042	1,948
法人税等調整額	309	282
法人税等合計	2,352	2,230
当期純利益	4,488	4,848
親会社株主に帰属する当期純利益	4,488	4,848

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第80期	第81期
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,388	4,895
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,853	△12,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,824	13,732
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	736	6,165
現金及び現金同等物の期首残高	24,709	25,445
現金及び現金同等物の期末残高	25,445	31,611

会社概要

会社の概要 (2025年3月31日現在)

商号	ニチレキグループ株式会社
本社所在地	東京都千代田区九段北四丁目3番29号
設立	1949年9月
資本金	29億1千9百万円
従業員数	1,386名 (連結)、104名 (単体)

主な事業内容

- グループ経営戦略の企画・立案およびグループ会社の経営管理・監督、グループ共通業務等
- アスファルト応用加工製品の製造・販売、建築・土木用資材の製造加工・販売
- 道路舗装工事・防水工事・上下水道工事ならびにその他の土木工事の請負およびこれらに関する調査・設計・監理
- 測量・地質調査
- コンピュータ情報サービス・ソフトウェアおよび情報処理機器の開発・販売
- 屋内外の各種表示および広告の企画・設計・施工ならびにこれらに使用する印刷物の製造および販売

取締役一覧 (2025年6月27日現在)

代表取締役社長	小幡学
代表取締役副社長	川口裕司
専務取締役	羽入昭吉
専務取締役	戸塚浩行
常務取締役	山本淳
常務取締役	伊藤達也
取締役※	小林修
取締役※	渋谷晴子
取締役※	城處琢也
取締役※	福田美詠子
取締役(監査等委員)	野原正昭
取締役(監査等委員)※	蟹谷勉
取締役(監査等委員)※	川手典子

※ 社外取締役であります。

主な子会社 (2025年4月1日現在)

ニチレキ株式会社
北海道ニチレキ工事株式会社
東北ニチレキ工事株式会社
日瀝道路株式会社
日レキ特殊工事株式会社
中部ニチレキ工事株式会社
近畿ニチレキ工事株式会社
中国ニチレキ工事株式会社
四国ニチレキ工事株式会社
朝日工業テクノス株式会社
九州ニチレキ工事株式会社
ラインファルト工業株式会社

株式情報 (2025年3月31日現在)

株式の状況

● 発行済株式総数および株主数

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数*	29,328,538株
株主数	10,924名

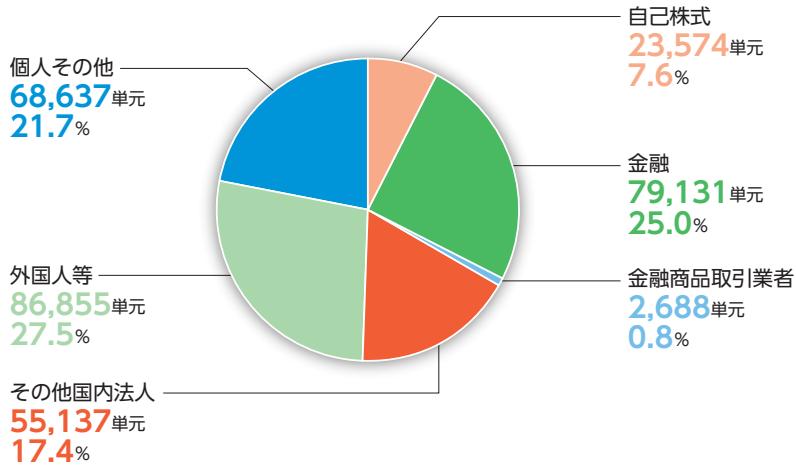
※ 自己株式2,357,417株を除く。

● 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
MAPLES TRUSTEE SERVICES (CAYMAN) LIMITED (ACTING IN ITS CAPACITY AS TRUSTEE OF DUET)/GZ-1	2,873	9.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,733	9.32
THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LTD.	1,628	5.55
株式会社みずほ銀行	1,108	3.78
三井住友信託銀行株式会社	1,045	3.56
ニチレキ取引先持株会	818	2.79
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	690	2.35
公益財団法人池田20世紀美術館	630	2.15
株式会社三菱UFJ銀行	529	1.81
ニチレキ従業員持株会	528	1.80

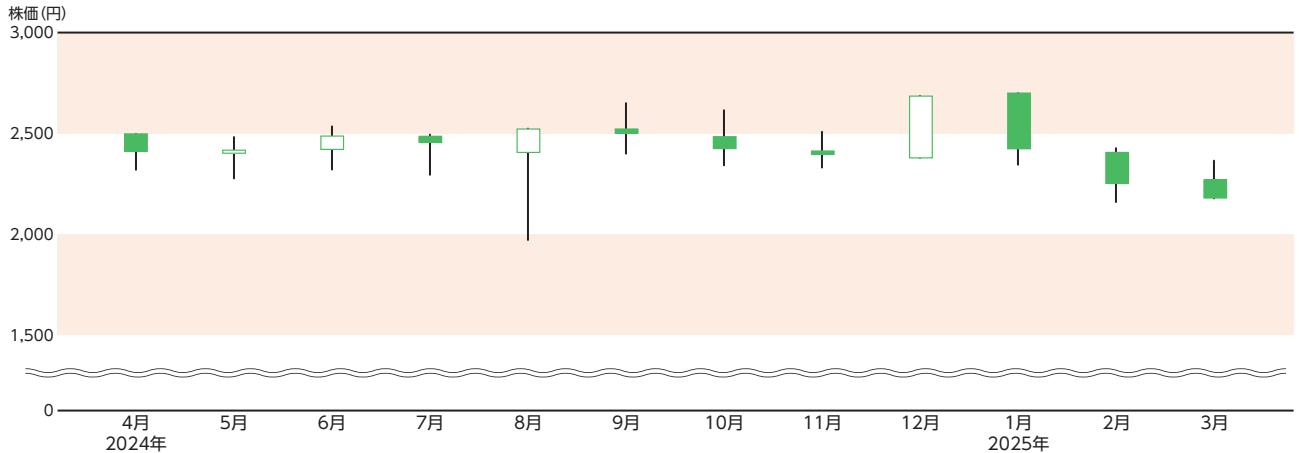
(注) 1. 当社は自己株式2,357,417株を保有しておりますが、上記には含めておりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



(注) 上記株式数および構成比率には、単元未満株式83,755株は含まれておりません。

● 株価の推移



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで
単元株式数 100株
定時株主総会 毎年6月
中間配当基準日 毎年9月30日
期末配当基準日 毎年3月31日
公告方法 電子公告
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱所 168-0063
(郵便物送付先・
お問い合わせ先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部
Tel.0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

三井住友信託銀行株式会社のフリーダイヤルまたはホームページ

●フリーダイヤル 0120-782-031

●ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

ご注意

▶住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



「IR情報」サイトのご案内

当社ホームページの「IR情報」サイトでは、株主・投資家の皆様向けの情報として、決算発表資料等を適時掲載しております。ぜひご利用ください。



URL: <https://www.nichireki.co.jp/investors/>

ニチレキグループ株式会社

<https://www.nichireki.co.jp/>

〒102-8222 東京都千代田区九段北4-3-29

TEL : 03-3265-1511 FAX : 03-3265-1510



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。